



写真提供：株式会社UDN

伝統を受け継ぐ 白石の冬の恒例行事



◎団子さし 豊作や無病息災を願い団子さしをする園児たち



◎弥治郎こけし初挽き 技術向上と商売繁盛を願い初挽きする星定良さん

平成23年12月24日、サッカー日本代表のMF香川真司選手が、中学1年生からプロ入りまでの5年間を過ごした「第2の故郷」仙台で、「真司サンタがやって来た! 夢のクリスマス会」を開催した。この日は、市内の児童約300人を招待。本団(日下琢己監督)の4年生以上の児童も招待された。

サンタ姿で登場した香川選手は、トークショーやボールを使ったゲーム、じゃんけん大会などを行い、勝ち残った児童にサイン入りのユニホームやスパイクなどをプレゼント。児童たちは夢のような時間を過ごした。イベントの最後に香川選手は、「つらい経験をしたと思いますが、みんなには将来があります。

ます。僕自身もこれからこうしたイベントを開いて、サッカーを通してみんなに夢を持ってもらえるように、もっと、もっと頑張ります。また足を運びますので、またどこかの場所で、みんなと会えることを楽しみにしています。復興までの道のりは長いですが、共に頑張りましょう」と話し、児童一人一人に声を掛けながら握手をした。

自身も阪神・淡路大震災を経験した香川選手だからこそ、分り合える心と心。「被災地の子どもたちのために行動を起こしたい」と企画された今回のイベントで、香川選手は「今こそ夢を持って生きてほしい」と、あきらめずに前に進むことの大切さを児童たちに伝えた。

夢を持つ大切さを学びました

白石第二小4年 小川 陽也くん



じゃんけん大会でサイン入りユニホームを勝ち取った小川くん

香川選手と会えてとてもうれしかったです。ユニホームは、一生の宝として大切にします。僕も香川選手のように夢に向かって頑張ろうと思います。僕の夢は、日本代表です。



離れた場所からコーンに当たるゲームで勝ち残り、サイン入りゲームソフトを勝ち取った大塚翔吾くん

香川 真司さん

かがわしんじ 1989年3月17日生まれ。兵庫県神戸市垂水区出身。5歳でサッカーを始め、12歳で宮城県仙台市へサッカー留学。FCみやぎバルセロナジュニアユースに所属。高校2年時、17歳でセレッソ大阪に入団、翌年にはレギュラーを獲得。以後、2009年J2得点王など、チームの中心選手として活躍する。2010年にはドイツ・ブンデスリーガの名門ボルシアドルトムントに移籍。リーグ戦で17試合8得点の大活躍をみせ、前半戦リーグMVPに選出。また、日本代表では2008年に平成生まれでは初のA代表に選出。UAE戦で代表初ゴール。2011年、日本代表の背番号10に抜擢。国内のみならず世界で注目される選手である。172^{センチ}。63^{キログラム}。

日本代表のMF香川真司さん 「夢のクリスマス会」を開催



◎響け世に、白石城の鐘の音! 願いを込めて鐘をつく人たち



◎2012元旦けり初め 世代を超えて元気にプレーする選手たち



◎七草の会 振る舞われた七草がゆを食べて健康を願う人たち

さまざま願いを込めてー

年末から一月中旬にかけて、白石ならではの冬の恒例行事が、市内各地で開催された。白石城本丸内鐘堂では大晦日に、「響け世に、白石城の鐘の音!」元日には、白石城で「白石城一周元旦マラソン」、白石川サッカー公園で「2012元旦けり初め」が開催された。また、弥治郎こけし村では1月2日、「弥治郎こけし初挽き」、武家屋敷では6日、「七草の会」、そして、北保育園では11日、「団子さし」が開催された。

そこには、変わることなく受け継がれてきた、恒例行事を守り続ける人たち。「笑顔があふれる一年になりますように」「健康で穏やかな一年になりますように」など、さまざまな願いを込めて参加した人たちの笑顔があふれていた。



◎白石城一周元旦マラソン 1周2.5^{キロ}の距離を全員が完走! マラソンの後は、参加者全員が無病息災を願う